

シリーズ講義・地域医療学
「地域医療NOW 私たちの歩む道は」

奈良県立医科大学は地域医療推進のため、文部科学省の補助を受け、専任教員を新規雇用し、地域の診療支援を行うとともに、地域に必要な医療ニーズを収集分析、最適な医療体制の提言を行っています。本シリーズは都市部と地方で新しい試みを実践する二人の臨床医を迎え、地域医療の「今」を踏まえ「これから」を考えます。地域にいたるだけが地域医療医じゃない。地域のために動き、生きるのが地域医療医だ。集まれ、地域医療医と卵達。

第1回 平成25年2月13日(水)

第1部「患者さんの求めに答え在宅へ」

医療法人三つ葉理事長 三つ葉在宅クリニック(愛知県)

船木 良真 先生

患者さんに一番近いところで
新たな道を開拓第2部 地域における整形外科診療 地域医療学講座特任助教 酒本 佳洋
地域における呼吸器内科診療 同 中村 篤宏

名古屋大出身、内科医。2005年に4人の医師仲間が集まり、在宅専門のグループ診療所を開業。年間100例以上を看取るなど、これまで医療が不足していたニーズをとりえ、患者さんおよびご家族、医療介護職から大きな信頼を集めている。



未来をみすえ 今に全力を注ぐ

第2回 平成25年3月4日(月)

国保すさみ病院(和歌山県)院長

高垣 有作 先生

「地域で今できていること、これから行うべきこと」

第2部 地域における泌尿器科診療 地域医療学講座特任助教 桑田 真臣
地域における小児科診療 同 矢田 弘史

和歌山県立医科大出身、心臓血管外科医。2005年より現職。地域の医療を一身に担いながら、若手医師育成にも大きく貢献。近年ITを利用し遠隔医療や医療介護連携システムを構築、新しいステージの地域医療に挑戦中。

【開催概要(各回共通)】

会場：奈良県立医科大学一般第2講義室(一般教育校舎1階)

時間：18:00~20:00(17:30受付開始)

内容：第1部 講演

第2部 地域医療支援特任教員ミニレクチャー

対象：若手医師および医学生、ほか関心のある方

定員：100名 <参加無料>

資料準備等のためできるだけ事前申込をお願いします。右宛にメールまたはFAXにて氏名・メールアドレスを添えご連絡いただくか、<https://sites.google.com/site/jojionishilab/event>の申込フォームをご利用ください。1回ずつの参加も結構です。

主催および連絡先

奈良県立医科大学地域医療学講座
担当 大西 丈二(准教授)

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL:0744-23-9959 FAX:23-9932

jonishi@narmed-u.ac.jp